

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

ウェルおおさか

vol. 154 2025年 2月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

農福連携事業の「今」と「これから」

～各地に広まる共生社会の新しい形～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



農福連携事業の「今」と「これから」

～各地に広まる共生社会の新しい形～

「農福連携」とは、「地域共生社会」の実現に向けた取組みの一つです。農業と福祉が連携して、障がい者など(※1)が農業分野で活躍する場をつくることで社会参画を実現し、自信や生きがいを創出していこうというものです。障がい者などにとっては、農作業での賃金の向上に加え、地域との交流により生活の質の向上にもつながり、また農業分野の新たな担い手の確保につながることも期待されています。全国の農福連携の取組みは、2019(令和元)年度末に4,117件でしたが、2022(令和4)年度末には6,343件(※2)と大きな広がりを見せています。

今回は、この農福連携事業の現状や課題を把握しつつ、大阪で先進的に農福連携に取り組む事業者を紹介しながら、これからについて考えます。

※1:障がい者など▶障がいがある、高齢、引きこもり、病気等の療養などで就業につながりにくい状況にある方々
 ※2:農福連携等推進会議「農福連携等ビジョン」(2024改訂版)より



個人の特性に合った仕事が見つかる農業

全国の障がい者の数を見ても、身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者は約963万人以上(全人口の8%弱)(※3)、発達障がい者を含めると1千万人を超えます。その中で仕事をしている障がい者は約93万人にとどまり、希望しても職に就けない人が潜在的に多くいると推察されます。障がいなどさまざまな個人の特性に合わせた活躍の場が必要とされているのです。

そこで注目されているのが農業の仕事です。障がい者が作業所などで行う仕事などとは違い、開放的な場所で植物が成長し収穫するまでを体感することが、精神状態などにも好影響をもたらすと言われています(表)。何よりも、

農業は作業工程が「種をまく・耕す・苗を植える・収穫・運搬・梱包」など多く、作業を分解しマニュアル化することで、「手先が器用」「黙々と作業をこなす」といった得意なことを活かし、個人の特性に合った仕事を選ぶことができます。そのため、本人の満足度が高く、就業定着率も高いことが農福連携の事業を行う中で分かってきました。

※3:2019年の厚生労働省資料より

働き手減少という喫緊の課題を抱える農業

予測不能な気候変動が進む中で、食料自給率向上が掲げられていますが、農業の労働人口は高齢化とともに減少の一途をたどり、人手不足が深刻です。近年、農業の作業工程を分解してマニュアル化すれば、障がい者が活躍で

きるという結果が出てきたことで、農業者には「農福連携」に参加しようという機運が高まっています。

今後の農福連携と都市型事業の未来

農福連携により、障がいや持病を持っていたり、高齢であっても働く意欲のある方々が、各々の特性に合った仕事を見つけられる可能性が広がっています。また、農業の担い手づくりにもつながり、双方にとってメリットの大きい取組みであるといえます。

大阪など都会で進められている農福連携事業では、交通の利便性が高く障がい者の通勤に送迎が不要なことも多い。新鮮な収穫物を都会の消費者にいち早く届けられるのも大きな魅力です。異業種の企業が社会貢献を目的の一つとして、農福連携を活用し、障がい者の働き場を創出する動きも都会ならではのとも言えるかもしれません。しかし、小規模から始める場合は、「農地の確保」「当面の運転資金の調達」といった課題もあります。農地は、耕作放棄地や空き家、屋上緑化などを活用して確保していきたいところです。運転資金には各種の補助金を活用し、農地の一部を貸農園などで運用したり、高付加価値の作物を栽培し販売するなど工夫すれば、都市型の農福連携事業が広がる可能性は高くなるはずですよ。

●表:障がい者の種類と農作業による効果

種類	農作業による効果
身体障がい者	●リハビリテーション効果による身体能力の向上
知的障がい者	●ストレスを発散し、不規則な睡眠や問題行動を減らす ●生活の安定
精神障がい者	●鬱病、精神的な不安定さに対する精神面でのリハビリテーション効果
発達障がい者	●問題行動を抱えている人の生活が安定 ●精神面でのリハビリテーション効果

注:いずれも施設運営サイドの方々の声を総合したものであり、医学的に実証されたものではない。
 ※『大阪市農福連携ガイド』P15「障がい者の種類と障がい者から見た農業の魅力」より抜粋

■大阪市の農福連携実践事業所①

障がい者の適性を見極め役割分担 農業の楽しさを実感する職場に

株式会社 舞洲フェルム (就労継続支援A型:大阪市此花区)

- 設立: 2013年
- 従業員数: 22名 (出向者含む うち障がい者15名) 2024年4月1日現在
- 栽培可能株数: 野菜は125,810株、いちご苗は約5400株
- 年間最大収穫量: 野菜は16作~17作で39,000kg (出荷ベース36,000kg)

株式会社舞洲フェルムが水耕栽培での農福連携事業を始めてから10年を迎えました。USJにほど近いところにある、約4,000㎡(約1,211坪)という大阪市内の農地では有数の広さを誇る敷地には、葉物野菜類やいちごを栽培するビニールハウスがずらりと並びます。

代表取締役の中野さんは創業までの経緯を、「親会社で映像制作を行う株式会社エクスプレスが創業50周年を契機に、障がい者の雇用を積極的に行っていくことになりました。雇用にあたっては、成果が見えやすく、やりがいを感じることができる仕事の方が、自信を持って働いてもらえるのではないかと考え、どんな事業が良いのかを1年くらい探しました」と振り返ります。

腰や体に負担が少ない 水耕栽培に着目

障がい者の雇用に適した事業を探す中で、全国でビニールハウスを活用した農福連携の事業が展開されていることを知ります。「各地のビニールハウスを見学して回り、事業に可能性を感じました。2011年には数名雇用した障がい者と指導員とともに、ココヨ株式会社の特例子会社として2007年から事



▲甘くて美味しい、ブランドいちごの苗が並ぶ
観光農園

業展開されていたハートランド株式会社を見学。その後、同社へ研修や勉強に通い、1年中働くことができ生産量も安定するビニールハウスで行う水耕栽培は、腰や膝に負担が少なく働きやすいことを知り、障がい者の働く場所としてふさわしいと感じたんです」と、中野さんは語ります。

意欲的に取り組む姿勢は、 社内に活気をもたらす

新しく福祉の業界へ参入したため、当初は障がいのある方との向き合い方を、農福連携の事業に関わる方々と情報交換しながら学んだといいます。

試行錯誤し改善を重ねながら、入社後の職場の環境整備に注力。障がい者それぞれの適性に合わせた作業のシフトを組み、やりがいを実感してもらうことが重要と考え、雇用後の1カ月間は、種まき・植え替え・収穫など一通りの作業を担当してもらい適性を確認しています。「得意な作業を担当してもらうことで、日を追うごとに積極性が増すように感じます」と中野さん。障がい者の従業員の半分以上は立ち上げ当初から勤務を継続しており、後輩への指導やアドバイスなどの声かけを行う役



代表取締役 中野 友明さん

割も果たしているそうです。

中野さんは「当事業所は、障がい者の施設ではなく、障がい者を社会人として雇用する仕事場である」「利用者ではなくスタッフである」などの意識の共有に努めています」と話しました。

高付加価値の野菜や いちごで販路を拡大

最初はカット野菜を出荷していましたが販売価格が見合わず、高付加価値の野菜に方向転換しました。現在は、サラダほうれん草・ルッコラなど12品目の野菜、4品目のハーブ、数種類のブランドいちご(観光農園としても活用)を栽培。無農薬の魅力も加わり、大手スーパーや、オーガニック野菜などを求める客層の販売店、ホテルやレストランなどへと販路を広げています。

「水耕栽培は、成長が早く試作しやすい。取引先から“こんな野菜作れませんか”という要望がよく届き、可能な限りお応えしていますがハウスが満杯になりつつあります」と笑う中野さん。

「当事業所のメリットは、送迎なしで最寄りのバス停から歩いて約10分で通えること。都市での事業のやりがいを感じています。初期投資はかかりますが、農福連携への助成金などを活用し、当事業所もやっている太陽光発電で電気代を節約するなど工夫すれば、社会貢献としても続ける意義は大きいと思います。今後については、従来からのいちごに加えて、ブルーベリー狩りのできる観光農園の開設をめざしています。市民との交流の機会を増やし、この事業への理解と共感の輪を広めたい」とこれからの展望を語りました。



▲葉物野菜は種を植え芽が育ったら1度植え替え、約26日で収穫可能

■大阪市の農福連携実践事業所②

障がい者とともに丹精込めて生産する 西成生まれの「よろしい茸」を広めたい

街かどあぐりにしなり よろしい茸工房(就労継続支援A型・B型:大阪市西成区)

- 設立: 2016年
- 従業員数: 20名(うち障がい者13名) 2024年12月1日現在
- 規模: 栽培面積450㎡
- 年間最大生産量: 10~12t

西成区の線路沿いの一角に、鮮度抜群の椎茸を、障がい者と力を合わせて生産している『よろしい茸工房』があります。代表理事の豊田さんは「運営していた福祉作業所で働く障がい者の賃金を上げることで“自立につながる場にしたい”と考えて、農福連携の事業に興味を持ったのがきっかけでした」と振り返ります。「農業に参加し、植物の成長を見ながら栽培し収穫する一連の作業を体感することで、楽しさも感じてもらいたい」との思いがあったとのこと。

ある日、農福連携に取り組む椎茸のメーカーによる栽培の講習に参加し、農福連携事業で話題になっていた水耕栽培に比べて「設備費などが抑えられる」「干し椎茸など加工品としても販売可能」ということを知り、小規模事業者でも始められる可能性を感じたそうです。また、椎茸栽培には工程が多く、障がい者の適性に合わせて作業を分担できると考えたとのこと。

「椎茸農場を建てるための用地探しで苦労していたのですが、偶然のタイミングで、農地利用可能なこの土地が貸し出されることを知り、椎茸が大阪産(もん)※の認定を受けられる可能性があることが分かったことで、一気に動き出すことができました」と豊田さん。

「西成産の椎茸」を前面に 鮮度と美味しさをアピール

市内唯一の椎茸農場である、よろしい茸工房の椎茸の特徴は、西成区で収穫されるので、大阪府内の店頭で新鮮なまま届けられること。豊田さんは「椎茸が嫌い」という方が一定数おられて、その理由の多くは椎茸独特のニオイな

んです。どうかして、このニオイを減らすことができないかを考えました」と語ります。椎茸のニオイは、鮮度が落ちると強くなると言われていて、「全国の名産地の椎茸も、生産から食卓に上るまでに数日かかると、そのニオイが出てしまう。でも、鮮度の良い朝採れの生椎茸にはそのニオイはありません」と豊田さん。「初めて椎茸を食べたお客様に、“こんなに美味しい椎茸、食べたことない”と言ってもらえたらうれしい。西成区で子ども食堂の運営もしていますが、椎茸が嫌いな子どもにも、朝採れの椎茸の美味しさを知ってほしいんです」と笑います。

椎茸栽培においてこだわっているのは質の良い菌床と、不純物の少ない電子水。菌床に椎茸菌を植えつけて、生えてきた椎茸を剪定。残された椎茸がその菌床の養分を独占し、軸が太くカサが大きく肉厚の美味しい椎茸になります。1度使われた菌床は一定の処理を施して電子水に浸す休息期間を設け、菌床の鮮度を回復させます。生産工場では、湿度の管理から菌床への散布など、水を使うすべての場面で電子水が使われています。



▲カサが大きく肉厚の「朝採れ生しいたけ」

※大阪産(もん):大阪府域で栽培・生産される農産物、畜産物、林産物、水産物と、それらを原材料として使用した加工品のこと。(2022年から規定変更により)椎茸は、植菌地が大阪府内であることが追加されました



よろしい茸工房 代表理事
ジョブコーチ 豊田 みどりさん

障がい者が働き続けられる 職場環境づくりに尽力

障がい者の勤務時間は体力面などを考慮し5時間勤務の体制。その他の従業員は8時間勤務ですが、一部、希望や経験に応じて障がい者数名は8時間勤務で働いています。作業内容は、入社後の適性を見て配置し、作業に慣れるまでは、障がい者を含む先輩社員たちがきめ細かく指導する体制が整っています。

大阪産の認定により、「カサが大きく肉厚で新鮮な西成生まれの椎茸」という「よろしい茸」のブランド価値が高まりました。取引先は、高付加価値の商品を求めるレストランなどを地道に開拓。今では大阪パルコーブでも売り出されるなど認知度も上がってきました。

「今後は、西成の椎茸ブランドを確立して、障がい者の雇用について考えている企業や工賃向上をめざす福祉施設等とも連携するなどして、地域の活性化につなげたい。事業所の収益性を上げて賃金を上昇させ、より多くの障がい者の働く場としての役割を果たしていきたい」と言葉に力を込めました。



▲よろしい茸工房スタッフのみなさん

持続可能な都市型の 農福連携事業の仕組みを つくる重要性

ディーセント・ファームかしわら 理事長
農福連携アドバイザー 植田 剛司さん

大阪公立大学農学部研究員。2016年より京都大学大学院農学研究科後期博士課程に在籍し、農福連携をテーマに研究活動を行う。



農福連携の事業の現状と、今後さらに進めて行くための課題などについて大阪公立大学農学部研究員(農福連携アドバイザー)の植田剛司さんに、お話をうかがいました。植田さんは、大阪府職員として障がい者の自立支援に関わったのちに、農業振興を通じて大阪府での農福連携の取組みに初期段階から積極的に携わって来られました。「当初、農福連携はまだ浸透していない状態でしたが、障がい者などにとっては、空の下で太陽の光を浴びながら、土いじりをしたり、植物に触れあうことが重要なことは知られてきていました。障がい者などが農業に関わることは、これまで多く実施されていた屋内型の作業とは異なる、何らかの良い影響を与えることができる新しい作業形態になり得ると考えていました」と植田さんは語ります。大阪府として農福連携を支援する仕事を通じて、その魅力にひかれ、自ら取り組むことを決意します。

求められているのは、 “ディーセント・ワーク”

“ディーセント・ワーク”(すべての人のための生産的な仕事)を広めていくことを目標に活動をしている植田さん。

その第一歩として、「障がい者、ニート・引きこもりの人などが、ともに仕事をして元気になり、経済的に自立できる場所づくり」ができればと、3年間の準備期間を経て2020年4月に大阪府柏原市に農地を購入し、ぶどう農家

として参入。2022年2月には、『特定非営利法人ディーセント・ファームかしわら』を立ち上げます。そして、障がい者の特性に合わせて、ぶどう栽培の作業を分解し分かりやすいマニュアルを作成。大阪府立西浦支援学校や大阪府環境農林水産研究所とともに、マニュアルを使えばぶどう栽培に障がい者などが携わることが可能であることを明らかにしました。

ただ、当時を振り返り、植田さんは「運営を続けていくためには、収益を上げて資金を蓄える必要がありました」と話します。そこで、近隣で耕作放棄地となっていた3000㎡の土地を新たに借入れます。一面、草に覆われた荒地でしたが農山漁村振興交付金(農林水産省)の採択を受けて抜本的な農園整備を行い、「体験農園」を2024年4月に開設。具体的には、段差解消や作業道の設置、バイオトイレの設置工事などを実施しました。これから、障がい者をはじめ誰もが働きやすい「ユニバーサル農園」の完成をめざします。体験農園では農園スタッフである障がい者の方々が草刈り、水やりなど日々の管理を行います。障がい者事業所や、がん患者の会、専修学校高等課程、地域の文化サークルといった多数の団体が利用していて、空きスペースも埋まりつつあり、現在では安定した収益を確保できる事業所運営の柱となっています。また、障がい者の方々が、重い物を運んだり農機具を使うことができたり、広範囲の草むしりをやり遂げられたことで自信を持つことができ、

言葉や表情に変化が生まれたりもしています。「障がい者の方々が体験農園を利用する多くの方々と交流するなど新しい体験ができることは大きいと思います」と植田さん。

農福連携のモデルケース となる事業を進めたい

植田さんは「2024年12月から、就労継続支援事業所を開設することができました。現在はB型としての事業活動ですが、さらに収益を上げて高工賃を支払い、“障がい者などの自立につながる働き場所”にしていきたいと考えています」と話します。

今後、大阪市などで進める都市型の農福連携の事業については、「土地代が高騰している中での初期投資」と「雇用を持続するための収益」がポイントになると話す植田さん。「当事業所では、日本政策金融公庫からの借入れや農林水産省の農山漁村振興交付金などを初期投資に使いましたが、収益が出るまでには一定の時間が必要なので運転資金の確保が不可欠です」とのこと。植田さんは起業の時から将来を見ずえて、「体験農園」の他にも、高付加価値の「炭づくり」など、事業を継続していく収益基盤を確立できるよう取り組んでいます。

「私たちの事業をモデルケースにできるように、しっかりと取り組んでいきたい。都市型の農福連携の新しい形を提案する論文を執筆中で、学会での発表も考えています」と、植田さんは言葉に力を込めました。

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

「介護のしごと就職フェア」に出展しました！

11月13日(水)にAP大阪茶屋町、11月20日(水)にあべのハルカスにて、「介護のしごと就職フェア」が開催されました。令和6年度からアシスタントワーカー導入に取り組んでいる3施設も出展し、就職希望者の方には面接会も実施しました。

今年もアシスタントワーカー相談コーナーは大盛況！

「アシスタントワーカーってどんな仕事をするの?」「未経験でも大丈夫?」など、相談や質問をたくさんの方からいただきました。

令和6年度のアシスタントワーカー導入施設もいよいよ採用が本格的にスタート!アシスタントワーカーの仕事に興味がある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人 嘉誠会

特別養護老人ホーム ヴァンサンク東住吉

〒546-0013
大阪市東住吉区
湯里5-13-5
☎06-6760-7011



社会福祉法人 幸聖福祉会

特別養護老人ホーム 藤ミレニアム

〒531-0073
大阪市北区
本庄西2-6-15
☎06-6371-6233



社会福祉法人 大阪自彊館

障害者支援施設 エフォール

〒533-0023
大阪市東淀川区
東淡路1-4-49
メゾン リベルテ
☎06-6325-3315



活躍中の アシスタントワーカーに インタビュー

- シーツ交換は慣れるまで時間がかかりましたが、利用者さんに喜んでいただけるのでやりがいがあります!(Aさん)
- 自分のペースで働くことができます!今まで全然知らなかった介護や認知症について知ることができて、とても勉強になります!(Mさん)

社会福祉法人 大阪自彊館
特別養護老人ホーム ジュネス
Aさん&Mさん

〒533-0023
大阪市東淀川区
東淡路1-4-49 メゾン リベルテ
☎06-6325-3336



第9回 WEB開催 慢性腎臓病 (CKD) セミナー

腎臓について知ろう!
市民の皆様へ
に向けた講演です。

配信期間 2025年2月27日(木) 12:00から 3月13日(木) 12:00まで

プログラム

あいさつ	腎臓・高血圧内科部長	小西 啓夫
①あなたの腎臓、大丈夫?	腎臓・高血圧内科医長	濱田 真宏
②血圧の薬って一生飲むの?~薬の違いを学ぼう~	薬剤師	大塚 涼平
③おいしく減塩~腎臓を守るために~	栄養士	中村 佳菜

第5回 WEB開催 大阪下垂体セミナー

下垂体について詳しく学ぼう!
当院医師がわかりやすく
講演いたします。

配信期間 2025年3月14日(金) 12:00から 3月28日(金) 12:00まで

プログラム

①小児下垂体機能低下症のABC	小児代謝内分泌・腎臓内科部長	森 潤
②下垂体機能低下症における 副腎皮質ホルモン補充療法の実際	糖尿病・内分泌内科担当部長	金本 巨哲
③下垂体腫瘍に対する最新の手術治療 —100%安全な手術を目指して—	脳神経外科担当部長	石橋 謙一

視聴
方法

下記①から③のいずれかの方法にてご視聴ください

- ①病院のホームページへアクセス [大阪市立総合医療センター](http://www.osakacit.or.jp)
- ②右のQRコードからアクセス
- ③右記視聴用URLを直接入力でも可能です <http://onl.tw/qDdEWP8>



視聴は無料です。
ふるって
ご視聴ください!



問合せ

大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 ☎06-6929-1221 (代表)

ウェルおおさかはーとフェア2024を開催しました。

日時:令和6年12月7日(土) 10:45~15:30

場所:大阪市社会福祉研修・情報センター

12月7日(土)に、福祉・介護のイベント「ウェルおおさかはーとフェア」を開催しました。

今年のコンセプトは「つながろう~つなげよう~ふくしの輪!」です。当日は600名を超えるたくさんの方にご来場いただき、大人も子どももみんな一緒に『ふくしの輪』を広げることができました!ご来場いただいたみなさまありがとうございました。

来年もご参加をお待ちしています。

センター主催の講座・イベント情報はSNSをチェック

ホームページ



X



Facebook



講座案内

●福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
相談支援機関の連携・協働のための研修	3月4日(火) 13:30~17:00	大阪市内の相談支援機関に勤務する相談員【地域包括支援センター、ランチ、区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センター(生活支援型)、生活困窮者自立相談支援窓口、見守り相談室等の相談員】	龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 教授 樽井 康彦	複合的な課題を抱えるケースを理解し、アプローチしていく場合の留意点や、相談支援機関が連携・協働し、支援を進めていくうえでの必要な視点などを学ぶとともに、事例をとおして具体的な連携・協働による支援の方法を学び、相談支援機関の相談員のスキルアップを図ることをめざします。	定員:36人 締切:2月12日(水) 受講料:無料
よこいと座談会 (中堅職員)	3月10日(月) 13:30~16:30	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する入職後おおむね3~5年程度の職員	関西学院短期大学 准教授 立花 直樹 四天寺大学 准教授 吉田 祐一郎	仕事に関する課題や悩みの共有や、情報交換を通して中堅職員同士の横のつながりを広げましょう。	定員:30人 締切:3月3日(月) 受講料:無料
就労支援事業所研修 ～支援現場から見た「はたらきたい」障がいのある方々への最新トレンドについて～	3月11日(火) 14:00~16:00	大阪市内の就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、自立訓練事業所等に勤務する職員	大阪市障がい者就業・生活支援センター 中央連携マネージャー(所長) 前野 哲哉	「働きたい」障がいのある人への支援課題を確認するとともに、利用者支援に求められる視点や企業等との協働のあり方、合理的配慮について考えます。	定員:30人 締切:2月18日(火) 受講料:1,500円
子ども研修 「強度行動障がい児への支援」	3月17日(月) 9:30~12:30	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する職員	梅花女子大学 心理こども学部 心理学科 教授 伊丹 昌一	強度行動障がいの「行動」は、子どもにある特性と周囲のかかわりや環境との相互作用によるもの大きいとされています。行動の助長が抑えられるよう効果的な支援方法を学びましょう。	定員:36人 締切:2月18日(火) 受講料:1,500円

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

問い合わせ先
申し込み先

研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込むか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 🌐https://www.wel-osaka.com ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

令和6年度 大阪市認知症疾患医療センター研修 第16回 大阪市認知症セミナー

申込先着順
参加無料
定員250名

共生社会の実現を推進するための認知症基本法～わたしたちの街 大阪のこれから～

座長 一般社団法人 大阪市東淀川区医師会
会長 辻 正純

〈講演1〉「認知症の最新情報」
大阪公立大学大学院 生活科学研究科
認知症ケア・施策学講座 特任教授 中西 亜紀
〈講演2〉「「認知症かな?」と思ったら、心配せずに、
受診してください」

医療法人圓生会 松本診療所 院長 松本 一生
〈講演3〉「大阪市の認知症施策について」
大阪市福祉局高齢者施策部 地域包括ケア推進課
認知症施策担当課長 永石 真知子

※手話通訳が必要な方につきましては、その旨をお申込みとあわせてご連絡くださいようお願いいたします。

※お申し込みをされた方は、当日直接会場へお越しください。定員を超えた場合のみご連絡します。

■日時/2月13日(木) 14:00~16:00(開場13:30~)

■場所/大阪市立港区民センター ホール
〒552-0003大阪市港区磯路1-7-17
港区土地区画整理記念・交流会館内

- Osaka Metro中央線「弁天町」下車 徒歩1分
- JR環状線「弁天町」下車 徒歩5分

■対象者/医師・看護師・ケアマネジャー・介護職員・
行政職員・相談員など認知症ケアに携わる方

■申込方法/QRコード・メール・URL

〈メールの必要記載事項〉件名は「認知症セミナー参加希望」と明記の上、
①参加希望者(複数名をまとめてお申し込みいただく場合はお申込代表者名)のお名前(フリガナ)、② ご所属・勤務先の名称(フリガナ)、③ご所属・勤務先の所在地(大阪市内の場合は区名まで・大阪市外の場合は市町村名まで)、④お電話番号、⑤ご参加希望人数を記入してください。

■申込締切/2月7日(金)まで

問い合わせ先
申し込み先

大阪市立弘済院 管理課 担当:新谷・前田 ※問い合わせ可能日、可能時間:月~金(祝日を除く)9:00~17:30

☎06-6871-8032 ☎06-6872-0549 ✉kousaiin-kouza@city.osaka.lg.jp

🌐https://lgpos.task-asp.net/cu/271004/ea/residents/procedures/apply/c38de07f-516f-445b-93f5-63935b019710/start



図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

プロとして知っておきたい! 障害福祉サービスのしくみと使い方

中央法規「ケアマネジャー」編集部 編集
中央法規出版 2024年

障害福祉サービスのしくみ、利用方法や手続きの流れなどを図・イラストを交えてパッと見でわかりやすく解説。障がい者、障がい児向けの各サービスの内容や利用のポイント、利用者の負担額なども理解できる。実務で役立つ待望の一冊!



介護職スキルアップブック 手早く学べてしっかり身につく! コミュニケーション技術&接遇マナー

白石直美 著 秀和システム 2024年
介護現場でよくあるコミュニケーションやマナーの困りごと63事例を取り上げ、利用者、家族、同僚、実習生、フレーム対応など場面別の対応法をわかりやすく解説。介護に携わる専門職として、新人からベテランまで必読となる一冊。事業所・施設内研修にも最適!



文化としての保護司制度 立ち直りに寄り添う「利他」のこころ

今福章二 編著
ミネルヴァ書房 2024年

保護司制度は130年以上の歴史を有し、犯罪者の立ち直りを助け、安全・安心な地域社会の実現を目指す更生保護制度の支柱として発展してきた。しかし、急激に変容する社会状況の中、現状の見直しと変革の必要に迫られている。保護司の活動とその精神の本質に迫る。



ノウフク大全: 農福連携技術支援から農園型雇用まで

高草雄士 著 創森社 2024年

近年、農業と福祉が連携する「農福連携」は大きなうねりとなり、障がいのある人だけでなく、シニア、外国人、ひきこもり、触法者などまで対象を広げている。誰もが働ける「ノウフク」の実践手順を具体的にわかりやすく示した手引書。



DVD紹介

わかりやすい事例から学ぶ地域包括ケアシステム

①高齢者の暮らしを支える互助・共助

丸善出版 25分 2020年

地域包括ケアシステムに関する事例を実写で再現! 支援・連携の流れをわかりやすく解説!
■地域包括支援センターにおける地域住民からの相談 ■医療・介護をつなげる地域包括支援センターの役割 ■地域住民の互助、高齢者を支える社会資源(オレンジカフェ)



全国共通 災害関連死とは何か?

~命を守るための知識・予防と対策~

十影堂 29分 2024年

災害関連死とは、地震や津波による直接的な死を免れたにも関わらず、その後の生活で命を落としてしまうことを指す。主な要因として、物資の不足、心理的ストレス、不衛生な環境、エコノミッククラス症候群など多岐にわたる。「災害関連死」の知識・予防・対策を学ぶDVD!



ケアを紡いで

東風 89分 2024年

27歳でステージ4の舌がんの診断を受けた看護師のゆずなさんは、仕事を休み、治療を続けている。根治が難しい病状を熟知しているゆずなさんが私たちに伝えようとしたいくつもの葛藤と確かな幸福のかたちとは?



君たちはどう生きるか

ウォルト・ディズニー・ジャパン
124分 2024年

母親を火事で失った少年・真人は父の勝一とともに東京を離れ、「青鷲屋敷」と呼ばれる広大なお屋敷に引っ越してくる。新たな母になった亡き母の妹に対して複雑な感情を抱き、学校でも孤立した日々を送る彼の前にある日、鳥と人間の姿を行き来する不思議な青サギが現れる。



毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!



大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関心の雑誌などが充実しています。)

開室時間 / 月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00、金曜日 9:30～19:00

利用資格 / 貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能なる方

休室日 / 日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先 / ☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



大阪市で実施する「こころの健康」に関する相談事業のご案内

大阪市在住の方を対象に、次の相談事業を実施しています。ひとりで悩まず、ご相談ください。



大阪市こころの健康センター

♡こころの悩み電話相談

気分の落ち込みや不安など、こころの健康に関する相談をお受けいたします。
【専門電話】06-6923-0936 【受付時間】月～金曜日の9:30～17:00(祝日・年末年始を除く)

♡こころの健康相談統一ダイヤル

「つらい…」「どうしたらいいかわからない…」そんな気持ちのときには、ぜひご相談ください。
【専門電話】0570-064-556 【受付時間】月～金曜日の10:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

♡自死遺族相談

ご家族やパートナーを自死で亡くされた方を対象に、臨床心理士が面接(予約制)によりお話しをお伺いします。
【予約電話】06-6922-8520 【予約受付時間】月～金曜日の9:00～17:30(祝日・年末年始を除く)

♡ひきこもり相談

「ひきこもり」に関することで悩んでおられるご本人やご家族などからのご相談をお受けいたします(電話相談後、必要に応じて面接等を行います)。精神科医による専門相談・家族教室は予約制です。
【専用電話】06-6923-0090 【受付時間】月～金曜日の10:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

♡思春期関連問題相談

不登校、人目を気にして外出を嫌がるなど、思春期特有の問題について悩んでおられるご本人やご家族などからのご相談をお受けいたします。精神科医による専門相談は予約制です。
【お問い合わせ】お住まいの区保健福祉センター(下記参照)にて、ご相談や専門相談の予約を受け付けています

♡依存症相談

アルコール・薬物・ギャンブル等の問題について悩んでおられるご本人やご家族などからのご相談をお受けいたします(電話相談後、必要に応じて面接等を行います)。精神科医による専門相談は予約制です。
【専用電話】06-6922-3475 【受付時間】月～金曜日の9:00～17:30(祝日・年末年始を除く)
※ひきこもり相談・思春期関連問題相談・依存症相談は、各区保健福祉センター(下記参照)でもお受けいたします。

各区保健福祉センター

♡精神保健福祉相談

精神保健福祉相談員や保健師が、こころの健康に関する相談をお受けいたします。必要に応じて精神科医による相談(予約制)もお受けいたします。
【お問い合わせ】06-●●●●-9968(●●●●の部分にお住まいの区の4ケタ番号を入れておかけください。)
【受付時間】月～金曜日の9:00～17:30(祝日・年末年始を除く)

北 区	6313	都 島 区	6882	福 島 区	6464	此 花 区	6466
中 央 区	6267	西 区	6532	港 区	6576	大 正 区	4394
天王寺区	6774	浪 速 区	6647	西淀川区	6478	淀 川 区	6308
東淀川区	4809	東 成 区	6977	生 野 区	6715	旭 区	6957
城 東 区	6930	鶴 見 区	6915	阿倍野区	6622	住之江区	6682
住 吉 区	6694	東住吉区	4399	平 野 区	4302	西 成 区	6659

〈大阪市こころの健康センター〉

大阪市都島区中野町5-15-21 都島センタービル3階 ☎06-6922-8520

今月の自助具／グリップ付き首振りスプーン

主な適応疾患・対象者 ▶ 手首を動かすのが難しく、握る力が弱い方



〈機能・特徴〉

- グリップ部形状は手のひらで包み込むようにしっかり握り込むことができる
- 手首を曲げなくても、スプーン先端を食べやすい方向に曲げて食べることができる

〈使い方〉

- 太く湾曲したグリップ部を、手のひらで包むように持ち、食べやすい角度に曲げたスプーン先端で食べ物をすくって食べる

資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-4981-8492(月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

快適なポータブルトイレ

利用者、介助者の動作に配慮した思いやり設計



●ラフィーネ

脱臭機能付き。光触媒分解と活性炭吸着のW脱臭構造なので、パワフルに脱臭。ワンタッチで簡単に上げ下げできる昇降式ひじ掛けなど、移乗・介助に便利な機能が満載。

オゾンでまるごと除菌&消毒
コンパクトトイレ



●さわやかチェアPTO

便座下にオゾン除菌消臭器をセット。排泄後の気になる臭いを軽減します。足引きスペースがあるので、立ち上がりラックに行え、体格、身体状況に合わせて、背シートの奥行が調節できます。

理想的な排泄姿勢の崩れを防ぎ
排泄姿勢に導きます



●ジャスピタ

理想的な排泄姿勢に誘導し、ポータブルトイレ使用時の失敗(=尿こぼれ)を防ぐことで、高齢者の自尊心を守るだけでなく、後処理の介護負担も軽減します。

問合せ

公益社団法人関西シルバースervice協会
介護情報・研修センター福祉用具展示場
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15
大阪府社会福祉会館1階

☎06-6763-1480
🌐https://kansil.jp

マイナンバーカードの申請受付

ご希望の場所に **無料** お伺いします!

区役所に行かなくても、
カードを受け取れます!

予約制

写真撮影
無料!

時間は約**20分**

※別途設定時間が必要となります

※訪問先は大阪市内に限らせていただきます。

「マイナンバーカードをまだ申請していない方」と
「マイナンバーカードを申請済でまだ受け取っていない方」の両方に対応します。

外出が困難な方は、お一人でもご利用できます

※同居のご家族等も一緒にご利用いただけます。

外出が
困難な方の例

- ・病気で寝たきりの方
- ・介護を受けている方で外出が困難な方
- ・障がいをお持ちの方で外出が困難な方

大阪市マイナンバーカード
出張申請サポート窓口・訪問型出張申請受付サービス コールセンター

TEL **050-3535-0200** [受付時間] 全日/9:00~17:30
(12/29~1/3を除く)

FAX 06-7178-8897 ✉ osaka.city.mnc@ddcontact.jp

訪問型出張申請受付サービス
特設サイトはコチラ!

<https://mynumber.city.osaka.lg.jp/visit/>



(広告)

どんな広告を
作ればいいのか
悩む...



何年も使っている
冊子を
新しくしたい!



内製している
チラシの評判が
よくない...



クリエイティブ関連のお悩み解決は
「ウェルおおさか」も制作している
アド・エモンにぜひお任せください!!

チラシ

パンフレット

小冊子

カタログ

会社案内

各種PRツール

取材・撮影

印刷

アニメーション動画

and more...



納得のご予算でお客様のイメージを
トータルでカタチにします!!

TOTAL CREATION

AD-EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号

TEL 06-6358-1010 FAX 06-6358-1011 ✉ info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>



(広告)

十三市民病院 いきいき健康セミナー

2月18日(火) 14:00~15:00

参加費無料

糖尿病と上手につきあうコツ

講師 糖尿病看護認定看護師 後藤 夏絵

3月18日(火) 14:00~15:00

参加費無料

がん治療と日常生活の過ごし方

講師 がん化学療法看護認定看護師 坂本 陽子

場 所▶ 大阪市立十三市民病院
9Fすかいルーム

その他▶ マスク着用 申込不要



問合せ

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室
☎06-6150-8000(代表)

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 9:00~21:00まで(土・日曜日は9:00~17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30~17:00まで(月~土曜日) ※毎週金曜日19:00まで

休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日~翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	9:00~21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30~17:00)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	9:00~17:00
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	9:00~17:00

貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。
初めてご利用される方は、事前にお問合せください。

ウェルおおさか

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30~利用日の3日前までです。
詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



(単位:円)

会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30~12:30	13:00~17:00	18:00~21:00	9:30~21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

交通 / ご来所には【大阪シティバス】【JR】【大阪メトロ】をご利用ください

●大阪シティバス

【長橋二丁目】バス停すぐ
52系統(なんば~あべの橋)

【中開三丁目】バス停徒歩5分
80系統(鶴町四丁目~あべの橋)

●JR大阪環状線・大和路線

【今宮】駅から徒歩約10分

●大阪メトロ・四つ橋線・御堂筋線

【花園町】駅(①・②出口)から徒歩約15分

【大国町】駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200(代表)

ファックス / FAX06-4392-8206

URL / https://www.wel-osaka.com

Facebookもチェック



X(旧Twitter)もチェック



「ウェルおおさか」に
広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください...

大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



人権啓発キャッチコピー

【テーマ】いじめ問題

認め合おうぼくらの個性はいろいろだ

大源 優輝さん(令和5年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 小学生(高学年)の部 優秀賞)